

## 【港北区】令和 2 年第 3 回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	令和 2 年 9 月 4 日（金） 11 時 00 分 ～ 11 時 50 分
場 所	港北区役所 4 階 1・2 号会議室
出席者	<p>【出席議員：8 名】佐藤祐文議員（座長）、福地茂議員、 大山しょうじ議員、酒井誠議員、 白井正子議員、望月康弘議員、 大野トモイ議員、豊田有希議員</p> <p>【港北区：26 名】栗田区長、高嶋副区長、 北川福祉保健センター長、 橡木福祉保健センター担当部長、 秋本土木事務所長</p> <p style="text-align: right;">ほか関係職員</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和元年度個性ある区づくり推進費の決算について</li> <li>2 令和 2 年度個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）現年度見直しについて</li> <li>3 令和 2 年度個性ある区づくり推進費の予算執行状況について</li> <li>4 令和 3 年度港北区予算編成の考え方について</li> </ol>
発言の 要 旨	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和元年度個性ある区づくり推進費の決算について</li> <li>2 令和 2 年度個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）現年度見直しについて</li> <li>3 令和 2 年度個性ある区づくり推進費の予算執行状況について</li> <li>4 令和 3 年度港北区予算編成の考え方について</li> </ol> <p style="text-align: right;">（1～4 区長・副区長説明）</p> <p>豊田議員：</p> <p>今後、直近でも想定される台風等、水害時の避難行動について、事前に危険箇所を把握していても、コロナ禍では区民の避難の判断が鈍り、早急に避難できない可能性があることを想定したうえで、混乱が生じないように準備していただきたい。</p> <p>もう一点、コロナ禍においても、今冬にはインフルエンザの流行も想定されるが、こういった案内や対策を考えているかお答えいただきたい。</p>

栗田区長：

水害時の避難行動について、昨年の台風 19 号の際に、避難所と地域防災拠点の違いについて区民には認識の相違があり、混乱が生じた。また避難者のうち、約 4 割の方は安全な居住地域や、マンションの高層階在住など家にいていただいても大丈夫な方だった。

今回のコロナ禍では、避難所に避難するだけが避難ではないということ、特に避難する必要のない方には、その場に留まっていただくということを周知していく必要がある。まずはハザードマップで自身の居住地域にどのような危険があるのかを事前に把握したうえで、実際に避難勧告などが出た場合の避難行動をあらかじめ考えておいていただきたい旨を周知・啓発していきたい。

そのために、水害の冊子の中にマイタイムラインを記載できる箇所を設けている。

避難所の感染症対策については、横浜市の危機管理室からダンボール間仕切りなどが配付されているが、それに加えて港北区独自で、地元の段ボール事業者と連携協定を結び、地元の方から直接避難所に段ボールを配付するという手配をしていく。

実際のコロナ感染者で自宅待機の方については、国の定めた方針では、県が迎えに行き、専用の施設に避難していただくことになっている。濃厚接触者の方や PCR 検査の結果待ちの方については、横浜市のマニュアルでは、指定緊急避難場所に行ってください、一般の方の避難スペースとは別のスペースに分かれていただくようになっている。しかし、地域の方々から、その対応に不安があるとの声が寄せられていることや、濃厚接触者の方などのプライバシー保護や感染拡大防止の観点から、港北区独自に宿泊施設を借り上げてそちらの方に移動していただくよう手配している。

北川福祉保健センター長：

インフルエンザの流行時期と重なることについては、各医療機関並びに医師会と相談しながら対応していきたいと考えている。

インフルエンザのワクチンの出荷状況等も踏まえて、例えば高齢者の方や医療従事者の方を優先にワクチンを使いながらなど、予防に努めていきたい。

豊田議員：今後、問い合わせの増加が予想されるので、事前の準備をしっかりと行ってほしい。(要望)

大山議員：

事業の見直しについて、今後も更に見直しが出てくるものはあるのか。

栗田区長：

入札残や予算の執行残が出てくると思われる。また、集客数を減らすなどの工夫を凝らしイベントを実施する予定であるが、今後のコロナの状況によって開催を見直す場合があるため、執行残となる可能性があるが、ほとんど見直しは行ったと考えている。

	<p>大山議員： 市（局）の様々な補正予算において、学校や保育施設などそれぞれに新たな施策が行われる。区役所の立場から見て、こういう分野に予算を活用したら良いのではといったことや、活用について何かあれば聞かせてほしい。</p> <p>栗田区長： 今回の9月補正も非常に注視しており、各課長には資料が渡っており、自分に関する事業にアンテナを張るよう指示している。区民の皆様、事業者の皆様の助けとなるものに活用していきたい。そして、区役所としてさらに補強していく部分には区づくり推進費を活用していきたいと考えている。</p> <p>望月議員： 地域 SNS アプリ「ピアッツァ」について、活用に至った経緯や利点、どのような活用を期待しているのか確認したい。</p> <p>田中区政推進課長： 運営会社からご提案いただいた。当区としてもコロナ禍では区民の方同士のコミュニケーションを取りづらいというような状況がある。また、港北区は転入の方が非常に多く、ご近所付き合いがない中で、情報を聞きたいが聞けないといった声もあり、導入を進めた。地域の中で（不要となったおもちゃや家電などの）譲り合いの案内や、スポーツチームの応援などを通じてコミュニケーションを取っていただき、ゆくゆくは地域のお祭りの案内など、活性化のツールの一つとして活用いただけたらと考えている。</p>
備 考	